

令和7年度みやぎ環境交付金（メニュー選択型）事業

計画書
実績書

市町村名		大崎市		部課係名		産業経済部農村環境整備課	
事業名		ソーラー電気柵等導入支援事業					
新規・継続の別		新規 ・ 継続 （丸で囲むこと）					
事業概要 （背景、目的、 事業内容、事業量等）		【事業目的】 野鳥獣の農作物をえさとする傾向が拡大しているため、豊かな自然環境を積極的に守り育て、人間と野生動物の共存する環境を実現するため農作物の被害を軽減しながら、野生鳥獣が本来の生態を保つことができるよう対策を行う。H23～H27年度までは、被害農家に電気柵を貸出し、野生鳥獣被害軽減方法の推進を行っていたが、平成28年度より農家が電気柵を導入する際の助成を行っており、今後も鳥獣被害を抑えながら、豊かな自然環境を確保していきたい。 【事業内容】 電気柵の導入者に対して助成金を交付する。 ○補助率：1/2 ※但し、補助金上限を10万円とする。 ○事業費：7,000,000円（70,000円×100人）					
前年度からの変更点 （継続事業の場合のみ）							
事業完了日		令和8年2月27日					
事業 効果	二酸化炭素削減 効果(kg-CO ₂)	計画	不明				
		実績					
	その他（普及啓 発人数等）	計画	人目の届きにくい場所でも、太陽光を活用した電気柵を使用することにより、野生鳥獣の農作物依存の防止、農業者の耕作意欲の増加が期待でき、人間と野生動物の共存する環境を実現することができる。 ※太陽光ではない電気柵を使用した場合およそ1か月の電気料 熊・猪用 25円				
		実績					